

プレーパーク レポート

9/28
(日)

テクノフェスと同時開催となった今回、139名の方にご来場いただきました。重低音によるクレームや、駐車スペースの問題が心配されましたが、開催者同士が事前に良好な関係性を築いていたお陰で、無事開催することができました。「ガムテープに書いた名前を提示すればフェス飯購入可」という約束のもと、子連れの方にも豆乳ラーメンやガパオライス等お楽しみいただけましたようです。



ボランティアには高校生2名と新社会人3名、一般8名にご参加いただきました。高校生と新社会人の中には「どう接していいのか…」と悩んでいた方もいましたが、段ボールハウス作りやベビーのためのスペース作り、ボディペイント、追いかっこ等に活躍いただきました。皆さん積極的に子どもたちに接してくれる方々で、子どもたちの中にも接しやすい相手を見つけてはファンになり、コミュニケーションはかろうとする様子が見られました。一般ボランティアの方には色水ガーランドや、竹のジャングルジム、綱渡り、シャボン玉等、子どもたちの好奇心の矛先を確認しながら柔軟に対応していただきました。

前回から好評のボディペイントについては、お盆に広げた指絵具で自分の腕や足に描くスタイルでした。「手形を残したい」という子については段ボールハウスにペッタン。絵具の優しい感触に大人も我を忘れて没頭する様子がみられました。段ボールハウスはどんどん長くなり、まるで要塞のような外観に仕上がりました。追いかっこは新社会人には「きつかったけれど、いい運動！またやりたい」という感想でした。定番の色水ガーランドは食紅を水に溶かして、傘袋に入れ、色のグラデーションを楽しみました。



今回初登場の「竹を使ったジャングルジム」は縄ブランコと共に大人気で子どもたちが絶えず上り下りしていました。木登り好きな子たちがこのジャングルジムの土台にして、苦手な子にも手ほどきする様子が見られました。定番となった綱渡りも、子ども10人ほどが座っても大丈夫な強度で、ポヨンポヨンと楽しませていました。プレーパークの締めくくりはなんといっても大綱引き。大人も子どもも入り混じって20名対20名が一所懸命に引き合い、「オーエス、オーエス」の掛け声が響きました。

人気の火起こしはマッチ初体験の子もいて、おそろおそろ箱をこする様子が見られました。焚火がとろ火になるとマシュマロの登場です。子どもたちにペアを組ませて「マシュマロ係」と「串係」で場内を歩きます。「いかがですか〜？」の声掛けも板についてきた子どもたちにはこの役割を楽しみにしている子もいます。串さしにしたマシュマロを焚火にあぶり、ビスケットで挟んだ「スモア」もみんなの大好物です。

5月にみんなで植えたサツマイモを、今日は試しに掘り起こしてみました。子どもたちからは「れんこんみたいいな形だ!」「でっかい!」と歓声があがりました。次回は本掘りとなりますが、保管して乾燥させて焼き芋にし、デコレーションする予定です。



ご協力いただいた店舗様/企業様

両神道の駅、両神温泉薬師の湯、ローソン 小鹿野飯田、綿半、ラコマート、ウエルシア、ファミリーマート下小鹿野、セブン小鹿野バイパス、セブン下小鹿野、(株)イチワタ、亀吉パン、コメリ、一三三屋、加藤屋洋品店、近藤金物店、八宮松雪堂、村上商店、(株)菊屋、肉の丸清、中野酒店、おもちゃのツカモト、村上文具、トミモ化粧品店、アライパン屋、ウニクス秩父、(株)源

ボランティア協力依頼
マスダプロパン
パナピットエルフ

【その他企業様】

お名前は記載できませんが、材料などをご提供いただきました皆様。

地域の遊び場作りにご協力いただきまして誠にありがとうございました♡

初参加のボランティアさんから「最初は緊張していましたが、子どもの方から寄ってきてくれて緊張をほぐしてくれた。自分にも役に立つことがあるんだ、と改めて感じる事ができた」という感想をいただきました。子どももボランティアも自己有用感を高めあっていることが、本当にほほえましくありがたく、推進委員の私たちにはプレーパークの活動意義を実感することができました。